



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1931, 16(6): 473-477

ISSUE DATE:

1931-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183977>

RIGHT:

るが今日經營經濟學、農業政策などの學問があることを知つたなら、氏の地誌學と稱するものは何分残るであらうか。

次に氏の文字の使用が甚しく不當である。今日現存する地誌に對して、全く異なるものであり且つ極めて偏つたものを地誌學と稱するは内容はともあれ、名前としては不適當なることは既に小倉博士の説かれた所であるが、同様に人口經營、地誌經營の如きも今日の經營といふ字意ある以上他に名目を附すべきではないか。又氏の術學的文字的の使用としては町村といふのを長方形型の住居群、日本の町村といふのを特に日本群島の町村（日本群島の多くの島々のうち町村をもつのは日本内地だけだ）といふが如き唾棄すべきである。

最後に氏は「地誌の研究」に於いて「人文地理學中に地誌學なる一大分科を創設し云々」その他到る處に「學問の創設者」なる名譽を恣にしてゐるが、創設とか獨創とかいふことは今日の常識及び通説を一通り検討してから生ずるものではないからうか。地誌學を以て人文地理學の一大分科なりと主張する以上、今日學界に於いて認めらるゝ分類を打破すべき名論卓説を掲ぐべきではないか。評者は決して所謂喧嘩腰を以て批評に臨むものではない。氏が教室の會計係助手として精勵その職にある傍、刻苦獨學して幾多の論文をものせらるゝは全く敬服するところであるが、最近の氏の論調はドグマか官學的術氣か甚しく學問的墮落を來してゐると思はざるを得ない。氏の爲に誠にしみ取て苦言を呈する次第である。又出版元たる古今書院は優秀の地學關係書を刊行するを以て名

あるものであつたが、最近しきりに低調なる書籍を刊行するは不況の折柄とはいへこれ亦遺憾である。（石田龍次郎）

○斐伊川三角州發達の研究

島根縣岡義重著

定價四十錢 今市 伊藤印刷所

飯川郡出東村小學校に奉職されてゐる岡義重氏は、その居住地の新しい沖積地の發達に對して、住民がどういふ努力をしたか、どういふ經路で新しい村を作つてゆくか、即自然と人間との土地に對する密接な關係を明にせんとして、この珍らしい冊子を世に問はれた、歴史的研究の結果が十分有力に働いてゐることは申迄もないことである、菊版七十四頁挿圖十二、地方研究家にとつては珍らしい參考書である。定價四十錢は實に實費である、出雲今市町一六三七、伊藤印刷所でうてくれる。（藤田）

雜報

○日本南阿聯邦貿易

南阿大藏省發行の貿易統計によ

れば一九三一年一月乃至三月の三ヶ月間に於ける南阿聯邦總輸入額は千三百九十萬五千磅に達し前年同期の輸入に比し三百四十萬磅を減じた、そのうち勿論英本國及各殖民地から約七百萬磅を輸入した米國は約二百萬磅、獨逸は八十五萬磅について日本第四位をしめ四七八、四八八磅に上つた、その割合昨年年度の二・六%に比して、三・七%に増加した、その輸入

品は

魚類鑑詰

四、二九一磅

男女用衣服類

七五、〇四二

カンヴァス

二、九六一

綿織物

一三四、〇二九

人絹織物

二四、三一四

絹織物

一四一、二八六

陶磁器

六、六四四

ガラス製瓶類

三、一〇二

ゴム底靴

四五、七二四

木材

四、二二〇

レース刺繍糸紐類

三、五八六

織物

九、六六七

木函

八、八六二

右の如く綿織物は前年同期に比して倍増した、對中華民國綿布輸出不振の所、對南阿輸出の進展は注目し價すべく、本邦製綿布の安値に刺激せられシーチング及フランネル、縞三綾の輸入は漸増の傾向であつて、英國綿布も日本品と對抗上近く値下をするといふ話である、人絹とゴム底靴も昨年下半年期以來引きつゞき顯著なる進出を示めしてゐる。

○日本の百合球根の英國行

英國で百合根は大部分花卉栽培業者が切花を得るためにつくる、一花が一志内外以上でうれる、花輪としてクリスマス、イースターの季節に其

需要最も盛である、従つて白色大輪がよろこばる、そこで日本から輸出するものは、*Lilium longiflorum Formosum* 黒莖といはるゝもの古くより知られ好評である、その變種たる綠莖は花が見事であるけれども晩生であるし、花が長持しないのである、*Frabu* の純生も評判がよい。

Lilium longiflorum Gigantum の北方種が需用される本邦の取扱商人は屢々南方種を北方種と詐り又は之に混合するので信用を害した。北方種は樹が丈夫で大輪の花をひらき冷蔵に堪えるからである、南方種は成長餘り速で貯蔵が出来にくい。

日本の百合根は右の通り切花業者を目的とするから大量箱入のまゝ取引される、フォルモサは、

| 大小 | 一箱の數 | 價高 | 價低 |
|------------|---------|------|------|
| 六—七吋 | 二五〇—三〇〇 | 三磅五志 | 一磅七志 |
| 一〇—三吋 | 一五〇—二〇〇 | 四ニシ | 二、一〇 |
| ジャイアントイウムは | 一箱の數 | 價高 | 價低 |

| | | | |
|------|---------|------|------|
| 六—七吋 | 三〇〇—四〇〇 | 三、一七 | 二、一五 |
| 八—九吋 | 一四〇—二六〇 | 三、一七 | 二、一五 |

其他のものは一箱二磅内外で價がやすい、一九二九—三〇年に本邦不作の報や、過大に傳へられたから、一時に買煽られて高くなつた、しかし世界的不況のために今日ではあまり高くない、右の低い方の價で見當である、一九二七年には

七百九十萬個約九萬千磅を輸入し一九二九年には六百十萬個七萬五千磅を一九三〇年には六百三十萬個七萬七千磅を輸入した、本邦の栽培者はこの目的を熟知して不良品を淘汰し、品種の改善をはかつて輸出するならば、永く國產品として實用されるであらう、加奈陀線路で輸出すると氣候の關係で品質がわるくならぬ、パナマ經由は最もわるく、スエズ運河經由の方がよいやうである。

○アルゼンチン國の經濟

アルゼンチンは諸外國程に不景氣でない、一九三一年度に於て輸出六億二千萬ペソ、輸入五億二千萬ペソ、差引約一億金ペソの出超になる勢である。ペソは日本貨約二圓にあたる、アルゼンチン國の經濟の發達は二期に分たれる、一八九〇—一九一〇年。鐵道、農業の發達時代移民時代で、その移民の内現在三百人以上の百萬長者がある、其内二百人以上は伊太利人で他はスペイン人である。

一九二六年以降は新繁榮時代に入つて鐵道、製造業の發達めざましく、耕作面積が増加し農産物の種類が増加した、しかしこの繁榮は途中で止まつた。

第一にイリゴエン政府が外貨の流入を阻止した、即ち新らしく外國資本の流入を煽動政策により阻止したのである。

第二に農作物の世界的下落に關する對策がなかつた、第三に世界的不景氣がやつてきたので、品物がうれなくなつた、しかし北米合衆國、カナダ、オーストラリア、ブラジル、チ

リに比して打撃は輕かつた。其理由は領土が廣くて各種の資源が豊富であること、氣候の異なる帶の多いこと、人口が稀薄で人種が大部分白人であること、現在千二百萬の白人と、十三萬人の劣等人種がある、さうして年々三十萬の増加があるが、二十萬人は出生により十萬人は移民である。外資三十五億弗が働いてゐるが、大部分は英國、次に米國と佛國である、従つて生活費は合衆國を除き世界第一といつてよい程に高く、生活程度も亦歐洲の移民國よりも遙に高い、この國民の一ヶ年一人の平均消費高は左の如である。

| | | | |
|-----|------|-------|------|
| 靴 | 六足 | 毛織物 | 一疋 |
| 綿織物 | 五疋 | 砂糖 | 二五疋 |
| 肉 | 九十疋 | パン | 百六十疋 |
| 食用油 | 九ボンド | 茶コーヒー | 十疋 |
| 葡萄酒 | 五十立突 | ビール | 十五立突 |

靴の六足といふのを見ても消費のあらひことがわかる。目下産業は需給の均衡を保ち、農産物の原價が安くなつたので、農業生産が盛んになる、地代や勞銀運賃が二三割方下つたうへに、小麦の植付面積を三分三厘方減少するといふやうな整理をやつてゐる。

亞國の正貨準備は三億五千萬ペソで紙幣發行高に對し六割八分の準備がある、人口一人に對する準備率は合衆國より多く佛國より少い位に潤澤である、又人口一人宛の公債高も、一人百六十七弗であつて英國の八百十五弗、カナダの二百四

十二弗北米合衆國の二百一弗に比べて遙かに少い。

○京都に於ける新興工業

京都といへば京染、西陣

織、銅器、陶器、漆器などいふものが時代的の工業品であるがしかし千年の古都にも新しい工業が興つてきた、勿論、製鐵造船などいふ金工業は柄ではなく、製紙、洋灰、綿紡績、製粉、製糖等の粗工業が起る地理的素質をも持ち合はさない。

そこで高級繊維工業、理化學工業、精工品、加工品の工業が美はしい古都に相應して發展せんとしてゐる。現在新興の工業として第一にエムプロイダリー・レースをあげねばならぬレースの袖口といへば從來贅澤品で、高い關稅を拂つて瑞西から舶來したが、近頃日本婦人は袖口に之を用ひ必需品になつた、そこで日本レース株式會社が大正十五年十二月（五十萬圓）創立された。政府も亦レースの輸入に禁止稅をかけて之を保護したので、今日ではジャガード式レース機械を輸入して作つてゐる。今日ではこの會社に二十五臺職工四百名を擁し年額百萬圓を産し斷然日本のレース界をリードしてゐる、たゞしまだ外國品と海外で競争が出来る程になつてゐないのが残念である。次に毛織物に關しては、洋服裏地のアル

バカ代用品として（アルバカの輸入年額七百萬圓に達する）京都織物株式會社がシルバー織を出しはじめた、明治二十年の創立資本四百萬圓の會社であるが、このシルバーは昭和五年頃から織り出されたもので、人絹を以てアルバカに代つたものである。商工省もこれを非常に優良視してゐるが、市場に

出てからまだ一年にしかならぬけれども、將來は洋服裏地として大に發達するであらう。

第三にクロス工業を記しておきたい、從來我國では書籍の表装にするクロスが出来なう、そこで大正八年に資本金百萬圓のクロス工業株式會社が京都に出来、今日では殆ど輸入を杜絶してしまつた、大正八年には二十萬ヤードを産したのが十年後の今日三百萬ヤードを産し殆ど輸入クロスが無くなりかけてゐる、さうして國定教科書用をはじめ諸種の著書に用ひられ、圓本時代にその流行に乗じて大に發展したのであつた。猶最近はトレーシングクロスを作製するに至り陸海軍省に納めるやうになつた。

第四にネクタイ工業も馬鹿にならぬ、京都では大正七年に田中商會が器械を輸入して編ネクタイをつくりはじめたが、當初輸入が杜絶してゐたので、人絹のネクタイ十五錢位のもの、一圓にもうれて大に利得した、今日ではフレンチ編ネクタイ機械を輸入し、これにジャカードをかけて、非常に精巧のものをつくるやうになつた。一本一圓乃至一圓五十錢、目下田中商會だけでも年産一萬ダースを下らず、いづれは支那へ輸出するやうになるであらう。

○本邦製ゴム靴の南方進出

ゴム底カンパス靴は近年

ヒリッピンに進出し、米國及シンガポールの製品と競争してゐた、ことに米國は一九二九年迄は第一位で月額十萬比に上つたが、本年上半期に至り日本製は米國の夫の五倍に達した、

一九二六年に六萬三千足、一九二八年に十七萬八千足、一九二九年十六萬九千足といふのであつたが一九三〇年に一躍三十萬九千足二十五萬ベソに上つた。本年上半期には五十二萬六千足に増加した、以て其の進出の速かなるを見るであらう、ヒリッパンに最も需要のあるのは Canvas Rubber Shoes, Crepe Sole Canvas Shoes, Pum Shoes 等ヒカンベソは運動用、皮革靴の代用により白色のものが需用が多い、土民の生活が向上して洗足のもので段々とこの靴をはくやうになつたから需用が増加し、労働者や下級民がスリッパの代用として眞黒の足に眞白のカンバスをはきだした。ストラップ付よりも紐付の方が氣受がよく、細型よりも太型が一般に向く、大人用は五、六の二種サイズがよくうれて、七、八、九は労働者又は地方向である、踵付ゴム靴はクレープソールに比し細型でスマートなのが喜ばれるポンプ靴は體裁がよく脱穿に便利ながら在留中國人に愛用される。

大阪と神戸がその輸出港で、マニラ、セブ、イロイロ、ダヴァオの各港に陸揚せられ、マニラが過半をしめる、ゴム底カンバス靴は同時に印度にも進出した、元來カルカタではカナダ、英、米、三國の市場であつたが、數年前に比し本邦品はこゝでも一躍數十倍に上り、歐米に凌駕して第一位となつた一九二八―二九년에五十二萬七千九百足であつたのが其翌年に四百四萬三千七百足となり、本年五月のみで百三十七萬五千五百足(價格七十七萬三千五百留比)に達した。

質疑應答

勿論全部がカンバスではなく、他の靴もあるが、その四割乃至五割は之に屬する、元來運動靴としての本品は、靴下の使用を好まない印度人の嗜好に適し印度製履物に比べても其價格が低廉で、且耐久性がある結果かやうに需要が大に進んだのである、しかし本邦品はカンバスと底との接合部が脆く離れやすい缺點があるので改良しなくてはならぬ。

本邦の商人は競争して一時に多數の賣込商人をつくつて、安ものをつかます弊が多い。この際當事者が注意して價を上げず同時に品質を低下しないで永遠の消費を心掛けてほしいと思ふ。

質疑應答

問 米國の棉花と其の生産傾向。

(大阪 紡生)

答 米國農務局は一九三〇年春棉花の價格が下落すると、棉花統制協會を通じて一九二九年收穫の棉花約百三十萬バールを買上げ一九三一年七月迄之を市場に出さなかつたが、しかし一九三一年收穫豫想千五百五十八萬四千バールと發表された、め棉花の價格は愈下落した、蓋し生産過剰を憂ひて、一九三〇年春に既に棉花の作付面積を一割方減じたのに、實際右の數字が出て之を政府の持越分に合すと一九三一年の供給高は二千四百萬バールに達し、向ふ一年間に於ける世界の米棉需要高は千三百萬乃至千四百萬バールに過ぎないから、約一千百萬バールの棉花が、來年へ持こされ、それが更らに明